**各会議等の主な内容**

山形大会の主な内容をご紹介します。参加者を決める際のご参考になさってください。

今後、内容の変更等があった場合は、「山形大会第○報」の形でメール送信します。

**大会テーマ**情報共有社会の実現をめざして

―アクセシブルな資料を提供するために私たちができること

**【１０月１０日（火）】**

開会式、オリエンテーション（１３：００～１３：１５）

全体会（１３：１５～１７：００）

担当　理事会

第１部　パネルディスカッション「電子書籍ってどだなだず（どういうもの）？」

趣旨　　「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」により、国と地方公共団体は、「視覚障害者等が利用しやすい書籍及び電子書籍等の製作と販売を促進するための施策を講ずるものとする」と定められました。今後、視覚障害者等の読書の選択肢には、市販の電子書籍が加わることになるでしょう。利用しやすい電子書籍の規格や、出版界の今後の動向について最新の報告を聞き、利用しやすい電子書籍について理解を深める場とします。

第２部　シンポジウム「ＩＣＴでどうなる？読書と図書館の未来予想図」

趣旨　　情報共有の方法の大きな転換期ともいえる今、第１部での報告を受け、利用者、視覚障害者情報提供施設のＩＣＴの支援担当、特定電子書籍の製作担当、サービス担当が膝を突き合わせ、読書と図書館の未来予想図を描き出します。利用しやすい電子出版物の台頭に伴い、施設や団体で製作する図書の選定や、貸出・レファレンス、ボランティアの養成はどう変化していくのでしょうか。一方で、「誰ひとり取り残さない情報保障」として、ＩＣＴ機器の入手ができない、機器の操作が不得手などの理由から電子書籍の利用が難しい利用者へのサービスをどのように展開・継続するのか。各地域で起こり得る事案を例に取り、これからの情報提供施設とサービスとは？について考える場を持ちます。

**【１０月１１日（水）】**

分科会（９：００～１２：００）

■第１分科会

担当　（第１部）サービス委員会、（第２部）理事会

対象　　全職員

第１部テーマ

「書誌の基本をおさえて利用者のニーズに合ったサービスを！～書誌を通して考える図書館サービス～」

趣旨　どうして書誌を正確に作成しないと利用者サービスに支障があるのでしょうか。正確な書誌作成をしなければいけない根拠はどこにあるの？そもそも書誌情報というデータベースがないと、貸出し業務は成立しません。担当者以外には見えにくいけれども、実は図書館を支えている大切な業務を、施設長、担当者ではない方にも理解していただくとともに、それを通して点字図書館運営、サービスについて考えていただけるよう、基本を押さえた分かりやすい内容でお届けします。

第２部テーマ　「施設ＰＲと地域連携～きて・みて・聞いて！点字図書館！」

趣旨　各地の公共図書館や学校図書館での読書バリアフリー事業の展開において、視覚障害者情報提供施設でのサピエ研修や働きかけにより、利用の増進が図られています。地域において、視覚障害者情報提供施設の知名度を上げ、必要とされる場面で活用してもらうため、ＳＮＳによるＰＲの手法の紹介や、関係機関との連携に関する情報交換などを行います。

■第２分科会

担当　点訳委員会

対象　点訳担当職員等

テーマ　「ウィズコロナ・アフターコロナ時代の点訳者養成講習・ボランティアのスキルアップ・資料製作を考える」

内容　 第１部　講演：「触図を通して点訳の専門性と将来性を考える」

近年、視覚障害者が必要とする情報が急激に多様化・増加する一方、多くの図書においては、ビジュアル情報が増えてきています。そこで、視覚と触覚の特性の違いに留意しつつ触図も含めた情報提供のあり方を検討するとともに、点訳の専門性と将来について考えます。

第２部　情報交換

コロナ禍に全国の情報提供施設・団体が直面してきた課題を整理するとともに各地の具体的な工夫を共有し、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の点訳者養成講習・ボランティアのスキルアップ・資料製作について皆さんと共に考えます。

（８月実施予定のアンケート結果報告、ディスカッションを予定）

■第３分科会

担当　録音委員会

対象　音訳・録音担当職員等

テーマ　「みんなで考えよう「サピエ図書館」の録音図書の質について～審査を改善のチャンスに！　課題・解決策を共有して今後の力に変える～」

趣旨　録音委員会では２０２１年度より「サピエ図書館」に登録されている音声デイジーデータの音訳技術・デイジー編集などの品質の確認や製作基準に則って製作されているかなどをピックアップ形式で審査しています。本分科会では、これまでの審査結果をもとに製作時の注意事項や最終確認のチェックポイントなどを再認識することで音声デイジーデータの質の向上を目指します。また、審査結果をもとに各施設・団体で行った改善方法の取り組みを紹介。製作責任者であり、かつボランティアコーディネーターでもある職員の図書製作への向き合い方を考えます。

内容

１．ここは必ずチェック！質の高い音声デイジーデータ製作の決め手

これまでの審査結果をもとに、図書の構成、録音技術、音声表現技術、処理技　　術、デイジー編集技術の５つの項目にわけて製作時の注意事項や最終確認のチェックポイントを確認します。

２．悩みはみんな同じ！事例をヒントに製作の見直しを考えてみよう

審査結果を受け取った後、各施設・団体で行った改善方法の事例発表から、製　　作施設としての責任、担当職員の役割について考えます。

ブロック会議（１２：１０～１３：００）※下記のブロックのみ実施

■関東ブロック

事前の調査により、実施希望のあったブロックの協議会の場を設けます。

内容については、ブロック幹事館より提示します。

厚生労働省講演（１３：３０～１４：００）

「障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律（情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法）（予定）」

式典（１４：００～１４：３０）

報告（１４：３０～１５：３０）

分科会報告、全視情協報告、閉会式

機器展（１１日　１０：００～１６：００）

地域の方々を対象に、視覚障害者用具・機器展を行います。

大会参加者も昼食・休憩の時間などにぜひご覧ください。